

スーパーマーケット販売統計調査資料

2014年4月実績 速報版(パネル 285)

3月実績 確報版(旧パネル 306)

(2014年5月21日公表)

調査資料概要

【パネル 285】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象として同一 285 社を集計

※2014年4月実績よりパネル対象企業変更(306社→285社)

【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタアペカーリー、ファーストフード	
	日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム		
	一般食品	調味料、瓶詰詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014年4月実績よりエリア区分を8地方区分による6地方に変更

日本スーパーマーケット協会

オール日本スーパーマーケット協会

一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2014年5月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2014年4月実績 速報版 (パネル285)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	75,988,507	100.0%	98.5%	96.4%
食品合計	66,769,567	87.9%	99.4%	97.1%
生鮮3部門合計	25,474,731	33.5%	103.3%	100.9%
青果	10,296,136	13.5%	103.0%	100.8%
水産	6,901,246	9.1%	100.9%	98.4%
畜産	8,277,349	10.9%	105.6%	103.1%
惣菜	7,390,964	9.7%	104.6%	101.5%
日配	14,724,136	19.4%	100.0%	97.8%
一般食品	19,179,736	25.2%	92.6%	90.7%
非食品	6,148,565	8.1%	93.4%	92.5%
その他	3,070,374	4.0%	91.8%	91.5%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	11,927,089	48	96.4%	94.2%
関東地方	26,782,865	73	100.1%	97.6%
中部地方	9,314,563	57	99.0%	97.0%
近畿地方	16,954,025	43	98.2%	96.5%
中国・四国地方	6,908,130	39	97.2%	95.6%
九州・沖縄地方	4,101,834	25	96.4%	95.2%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	718,108	51	95.9%	94.7%
4~10店舗	3,800,468	79	96.7%	96.7%
11~25店舗	10,374,350	72	97.1%	96.2%
26~50店舗	14,553,129	45	97.0%	95.1%
51店舗以上	46,542,450	38	99.5%	97.0%

集計企業数 (社)	285	既存店総売上高 (万円)	72,933,014
総店舗数 (店舗)	7,308	店舗平均月商 (万円)	10,398
総売場面積 (㎡)	12,010,014	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.3

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2014年5月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2014年3月実績 確報版 (パネル306)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	84,436,181	100.0%	109.8%	107.0%
食品合計	72,859,894	86.3%	109.1%	105.9%
生鮮3部門合計	26,631,601	31.5%	108.0%	104.8%
青果	10,916,364	12.9%	107.8%	104.7%
水産	7,274,301	8.6%	105.2%	102.2%
畜産	8,440,936	10.0%	110.8%	107.5%
惣菜	7,391,852	8.8%	105.5%	101.9%
日配	15,424,811	18.3%	106.6%	103.6%
一般食品	23,411,630	27.7%	113.3%	110.1%
非食品	7,729,028	9.2%	118.3%	116.9%
その他	3,847,260	4.6%	109.5%	109.5%

エリア別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北エリア	13,990,134	50	110.3%	107.2%
首都圏エリア	32,352,872	89	111.9%	107.7%
北信越エリア	5,600,225	28	109.5%	105.8%
東海エリア	4,191,712	33	104.3%	102.9%
関西エリア	17,312,412	38	107.2%	105.7%
中国・四国エリア	6,367,395	39	108.8%	107.5%
九州・沖縄エリア	4,621,432	29	110.6%	110.2%

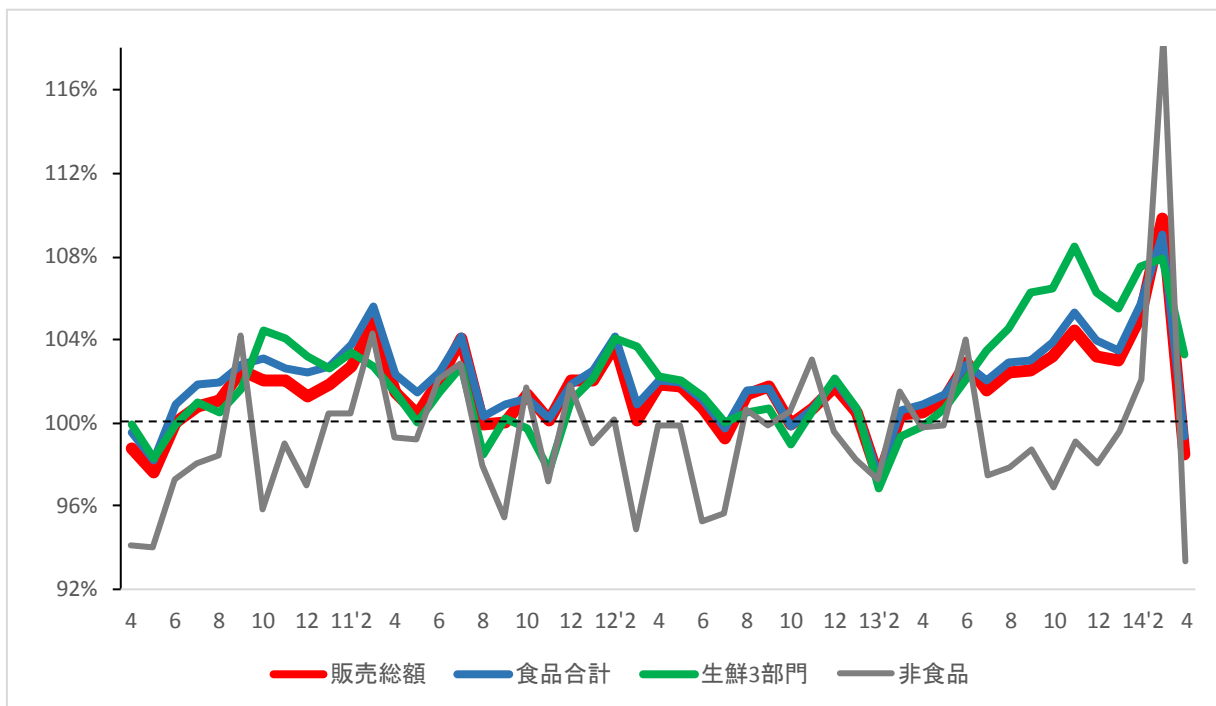
保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	970,755	64	102.6%	102.6%
4~10店舗	4,716,564	89	106.9%	106.1%
11~25店舗	11,381,759	71	106.3%	105.8%
26~50店舗	16,286,615	43	109.2%	107.2%
51店舗以上	51,080,488	39	111.0%	107.2%
集計企業数 (社)	306	既存店総売上高 (万円)	81,230,146	
総店舗数 (店舗)	7,298	店舗平均月商 (万円)	11,570	
総売場面積 (㎡)	11,647,953	売場1㎡あたり売上高 (万円)	7.2	

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2014年4月(全店ベース対前年同月比)

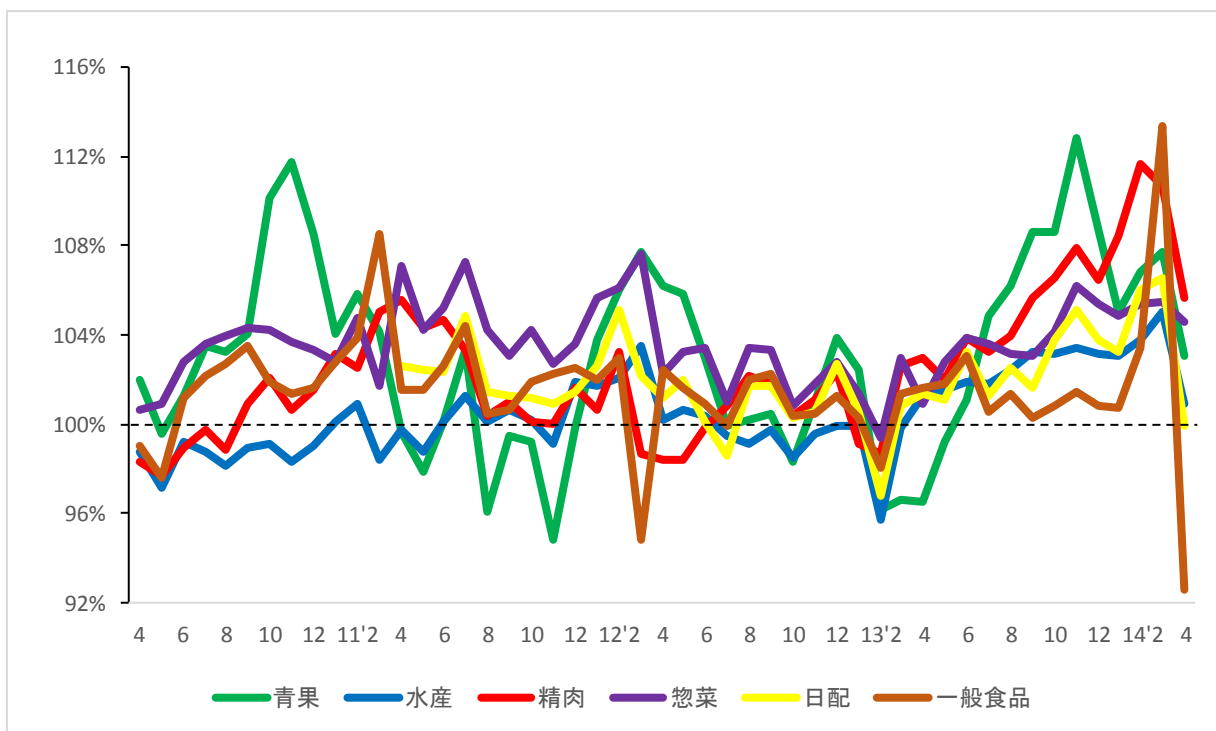
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



※2010年4月～2014年3月までは確報版による前年同月比、2014年4月は速報版による前年同月比
 ※2011年3月までは、「非食品」に「その他」を含む

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2014年4月(全店ベース対前年同月比)

青果・水産・畜産・惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2014年3月までは確報版による前年同月比、2014年4月は速報版による前年同月比
 ※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」を含む

エリア別 2014年4月気候状況(平均気温・日照時間・降水量)

①平均気温

2014年4月(平年との比較)

下旬は北海道地方で高くなったほかは、全国的に平年並みの気温となった。

前年同月(2013年4月)と比較

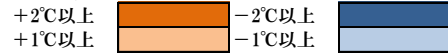
上旬は前年に比べやや低くなった地域が多く、下旬は全国的に高くなった。

	平年との比較(°C)								
	2014年4月			2013年4月(前年)			今年と前年との差(°C)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	-0.8	-1.3	2.0	0.7	-0.8	-0.8	-1.5	-0.5	2.8
東北地方	0.5	-1.0	1.2	0.9	-1.3	-1.6	-0.4	0.3	2.8
関東甲信地方	0.4	-0.6	0.2	2.0	-0.2	-1.8	-1.6	-0.4	2.0
北陸地方	-0.3	-1.3	0.6	0.6	-1.7	-2.0	-0.9	0.4	2.6
東海地方	0.0	-0.4	-0.3	1.5	-0.3	-1.5	-1.5	-0.1	1.2
近畿地方	-0.4	-0.8	0.2	0.7	-0.9	-2.1	-1.1	0.1	2.3
中国地方	-0.6	-0.7	0.6	-0.1	-1.1	-1.8	-0.5	0.4	2.4
四国地方	-0.8	-0.5	0.3	0.0	-0.8	-1.5	-0.8	0.3	1.8
九州北部	-0.7	0.4	0.4	-0.6	-0.6	-1.3	-0.1	1.0	1.7
九州南部・奄美地方	-1.0	0.5	-0.3	-0.5	0.1	-1.1	-0.5	0.4	0.8

平年差



前年差



②日照時間

2014年4月(平年との比較)

上旬は全国的にやや長く、中旬以降は北日本で長い日照時間となった

前年同月(2013年4月)と比較

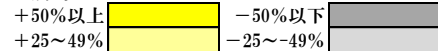
上旬は全国的にやや長く、中旬以降は北海道、東北地方で長い日照時間となった

	日照時間 平年比(%)								
	2014年4月			2013年4月(前年)			今年と前年との差(%)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	102	156	165	88	90	71	14	66	94
東北地方	128	174	118	94	108	86	34	66	32
関東甲信地方	127	136	99	98	128	110	29	8	-11
北陸地方	135	145	111	91	96	90	44	49	21
東海地方	133	106	92	99	126	112	34	-20	-20
近畿地方	135	110	95	99	130	106	36	-20	-11
中国地方	130	101	98	90	114	101	40	-13	-3
四国地方	125	83	94	110	127	117	15	-44	-23
九州北部	134	71	84	102	111	119	32	-40	-35
九州南部・奄美地方	143	85	70	120	118	129	23	-33	-59

平年差



前年差



③降水量

2014年4月(平年との比較)

上旬北海道、東北地方、下旬東海、近畿地方で多くなったが、その他では少なくなった

前年同月(2013年4月)と比較

上旬は全国的に降水量が少なく、中旬以降は東日本で降水量が少ない地域が多かった

	降水量 平年比(%)								
	2014年4月			2013年4月(前年)			今年と前年との差(%)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	222	16	1	279	99	134	-57	-83	-133
東北地方	192	3	32	198	89	115	-6	-86	-83
関東甲信地方	112	19	115	318	28	104	-206	-9	11
北陸地方	88	11	93	155	129	147	-67	-118	-54
東海地方	47	24	253	221	11	180	-174	13	73
近畿地方	45	26	192	101	31	147	-56	-5	45
中国地方	62	48	89	119	33	133	-57	15	-44
四国地方	58	75	101	101	49	114	-43	26	-13
九州北部	37	119	31	105	92	57	-68	27	-26
九州南部・奄美地方	13	114	54	118	38	75	-105	76	-21

平年差



前年差



気象庁ホームページより引用
平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均
スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

2014年5月調査結果(4月実績)

(2014年5月21日公表)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1.経営状況:「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」

スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ① 前年同月及と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査
- ② 前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より調査開始

経営動向調査DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

2.カテゴリー動向:「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」

スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ① 前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で調査 ※2014年4月実績より調査開始
- ② 各カテゴリーの好不調要因についてのコメント ※2014年4月実績より調査開始

【景況感調査】

1.景況感:「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ① 2~3カ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査
- ② 今後2~3カ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2014年5月21日

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

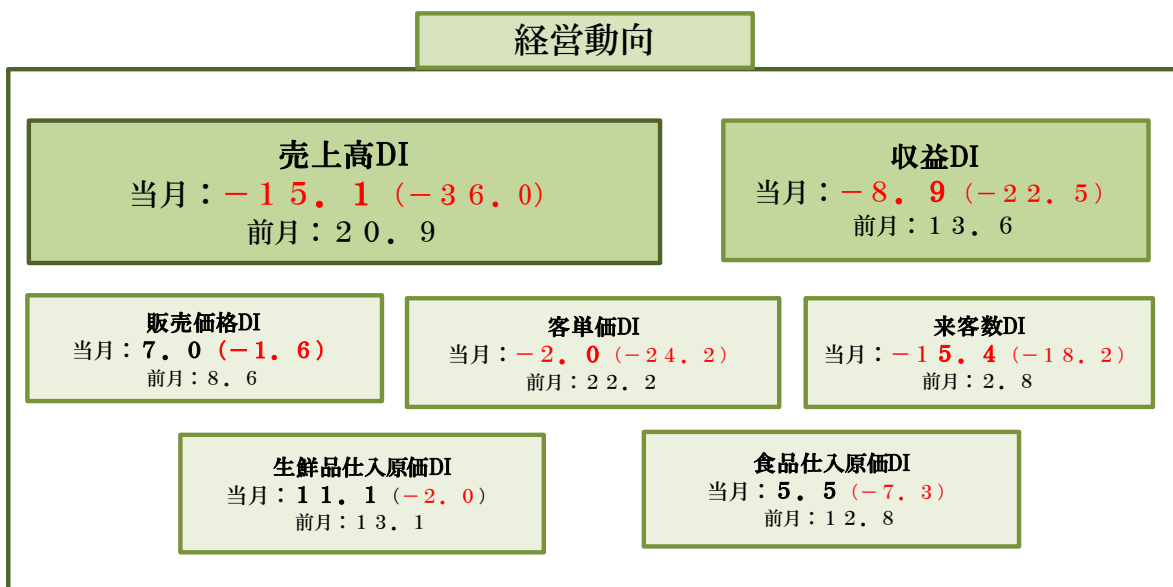
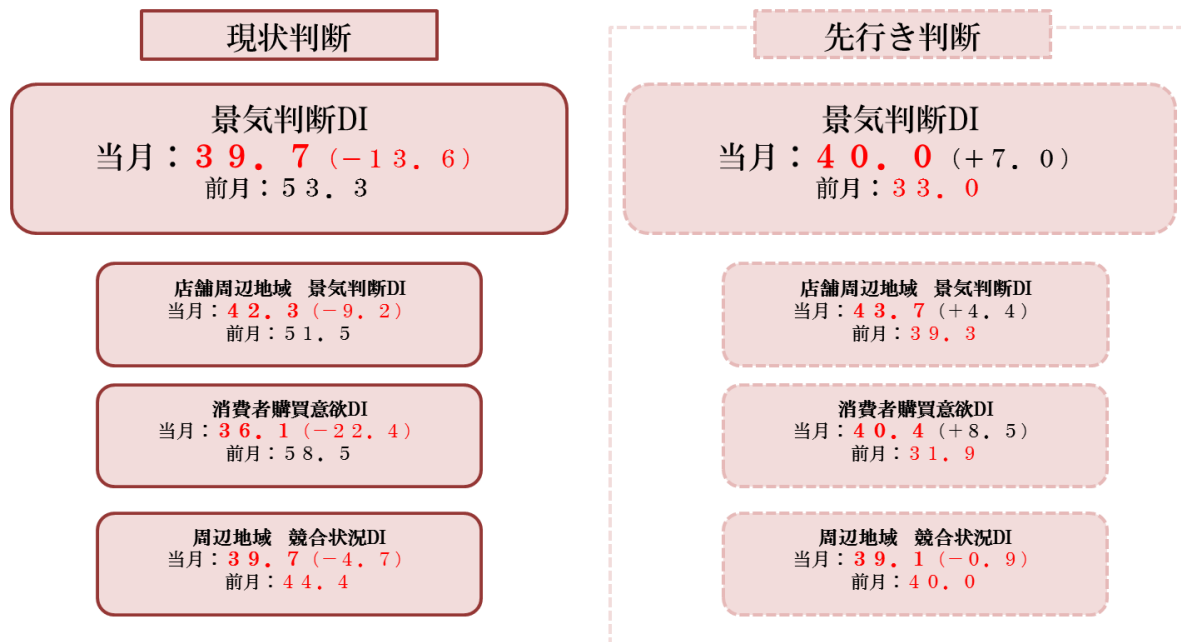
I. 調査結果概況

駆け込みによる反動で現状判断は大きく下落も、先行き判断は反発をみせる

4月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は39.7と前月から-13.6と大きな落ち込みをみせた。景況感調査の現状判断は消費者購買意欲DIが36.1（前月比-22.4）と特に大きく下落が大きくなっている。周辺地域景気判断は42.3（前月比-22.4）といずれも50を大きく割り込み結果となった。先行き判断は水準としては依然として水準としてはマイナス圏であるものの、前月比では上昇しており過度な悲観に対する修正がみられた。

経営動向調査では売上高DIが-15.1（前月比-36.0）と消費税率引き上げと駆け込み需要からの反動の影響を受け大きく下落した。同様に収益DIも-8.9（前月比-22.5）と落ち込みを見せた。客単価DIが-2.0（前月比-24.2）や来客数DI-15.4（前月比-18.2）が低水準に落ち込んだことが大きく影響している。販売価格DIは小幅な下落にとどまり、仕入原価各DIも高水準ながら落ち着いた動きとなった。

税率引き上げ後に乖離していた現状判断と先行き判断が交差することは想定どおりだが、今後特に先行き判断について回復基調が確認されるかが重要なポイントとなる。



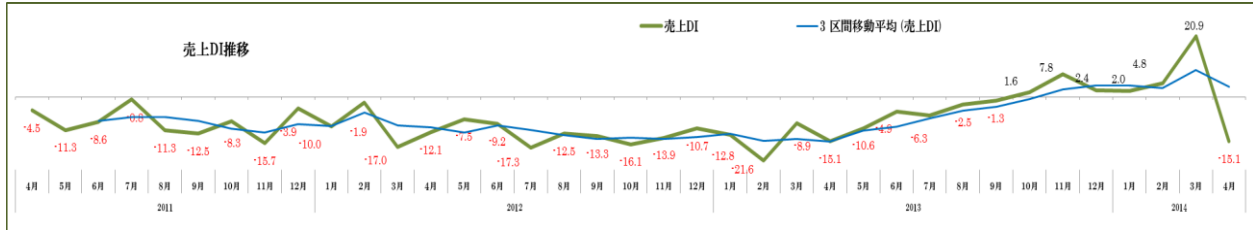
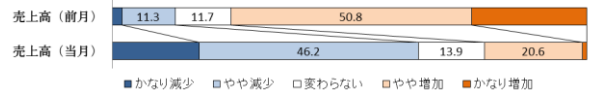
I. 調査結果詳細

1. 経営動向調査（前年同月との比較）

①売上高 DI

ゆるやかな回復傾向が続き 6 ヶ月連続プラスを示していたが、消費税率引き上げの影響を受け DI は大きく下落

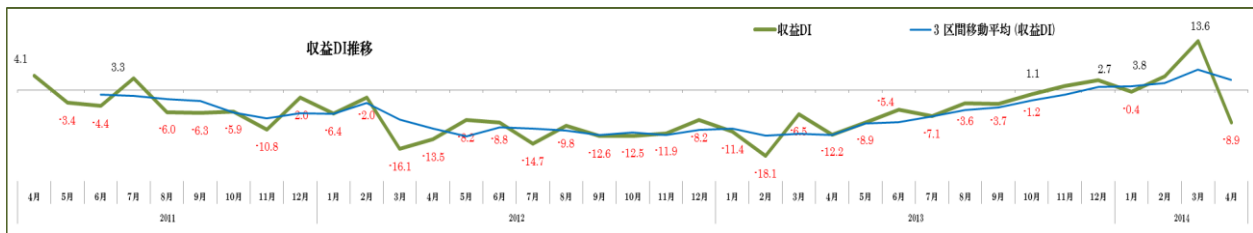
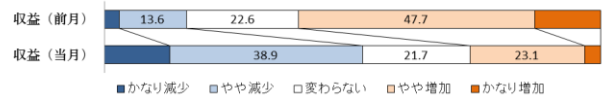
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	2.1	11.3	11.7	50.8	24.2	20.9
売上高 (当月)	18.4	46.2	13.9	20.6	0.9	-15.1



②収益 DI

ゆるやかな回復傾向が続いていたが、消費税率引き上げの影響を受け DI は大きく下落

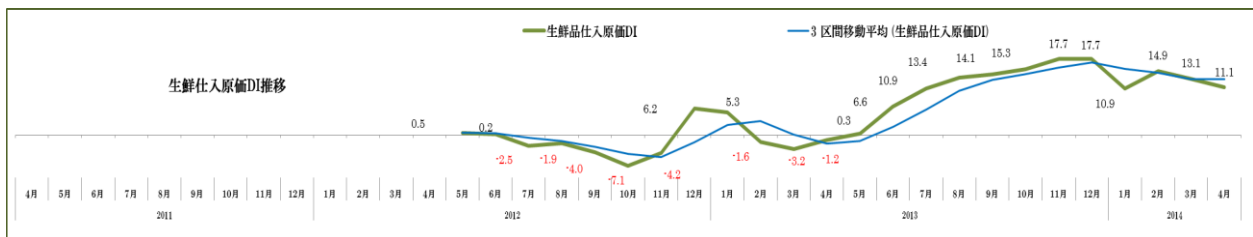
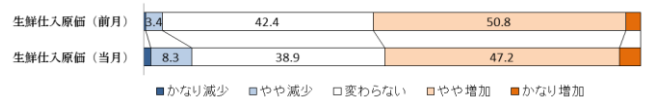
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	3.0	13.6	22.6	47.7	13.2	13.6
収益 (当月)	13.1	38.9	21.7	23.1	3.2	-8.9



③生鮮仕入原価 DI

DI は依然として高い水準にあるものの 12 月をピークにゆるやかに下降傾向

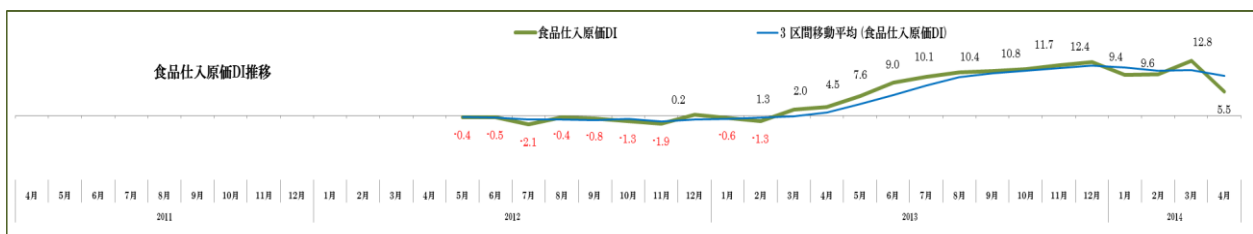
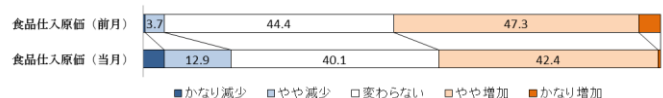
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.4	3.4	42.4	50.8	2.9	13.1
生鮮仕入原価 (当月)	1.4	8.3	38.9	47.2	4.2	11.1



④食品仕入原価 DI

4 月は DI が下落し、プラスではあるが落ち着いた動きとなっている

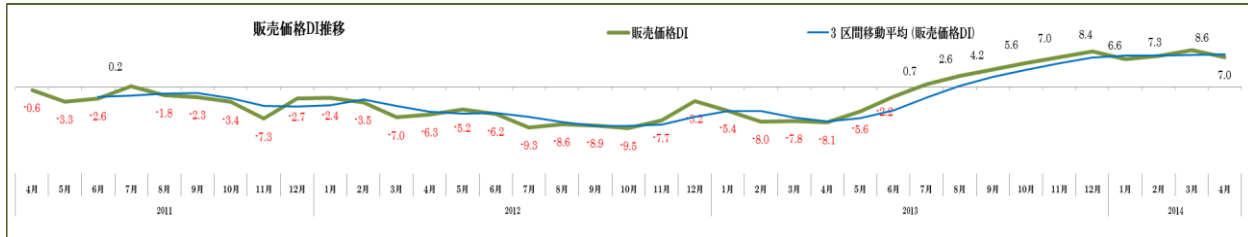
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.4	3.7	44.4	47.3	4.1	12.8
食品仕入原価 (当月)	4.1	12.9	40.1	42.4	0.5	5.5



⑤販売価格 DI

引き続きプラスを維持しており、高水準で横ばい傾向が続いている

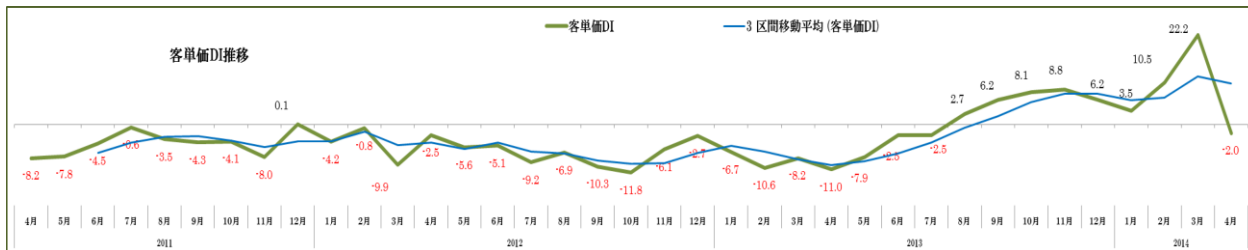
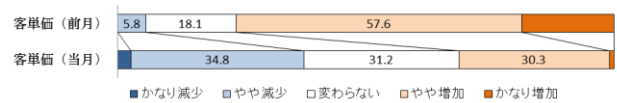
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.0	8.6	52.9	34.0	4.5	8.6
販売価格 (当月)	1.8	12.7	41.8	42.7	0.9	7.0



⑥客単価 DI

ゆるやかな回復傾向が続き 8 ヶ月連続プラスを示していたが、消費税率引き上げの影響を受け DI は大きく下落

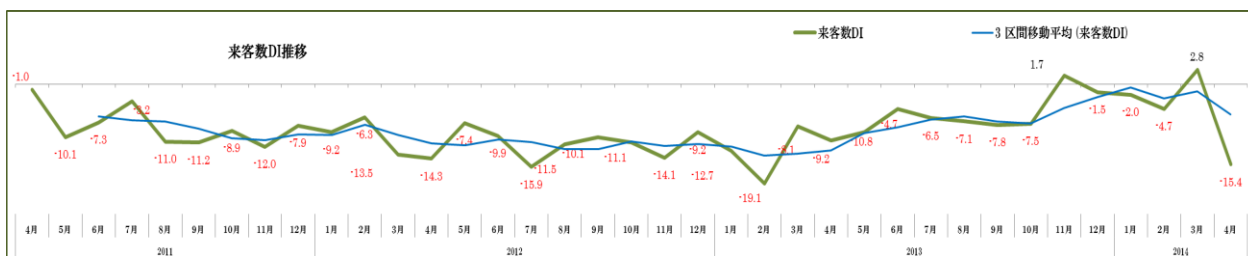
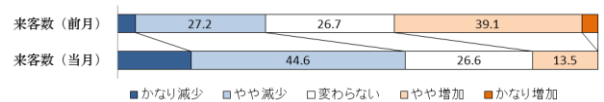
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.0	5.8	18.1	57.6	18.5	22.2
客単価 (当月)	2.7	34.8	31.2	30.3	0.9	-2.0



⑦来客数 DI

方向感の定まらない動きをみせており、4月は消費税率引き上げの影響を受け DI は大きく下落

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	3.7	27.2	26.7	39.1	3.3	2.8
来客数 (当月)	15.3	44.6	26.6	13.5	0.0	-15.4

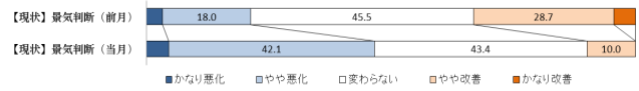


2. 景況感調査

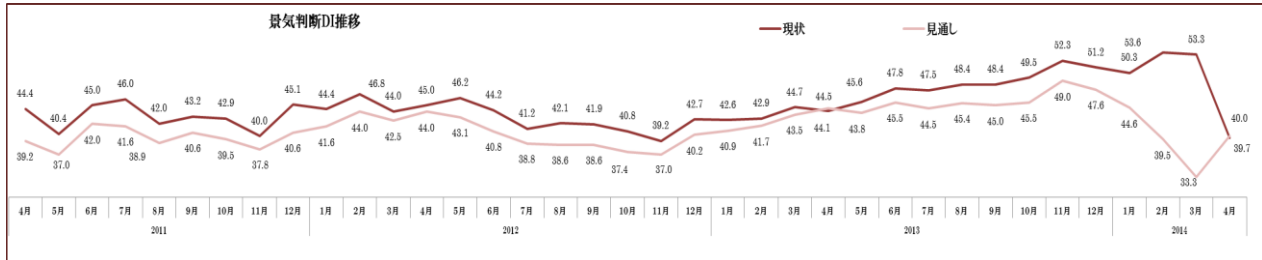
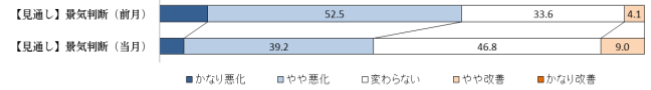
①景気判断 DI

現状判断は消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した一方で、見通し判断はやや反発をみせている

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	3.3	18.0	45.5	28.7	4.5	53.3
【現状】景気判断 (当月)	4.5	42.1	43.4	10.0	0.0	39.7



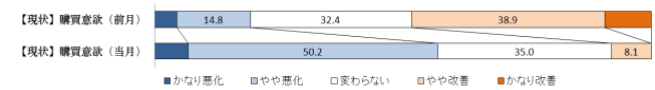
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	9.8	52.5	33.6	4.1	0.0	33.0
【見通し】景気判断 (当月)	5.0	39.2	46.8	9.0	0.0	40.0



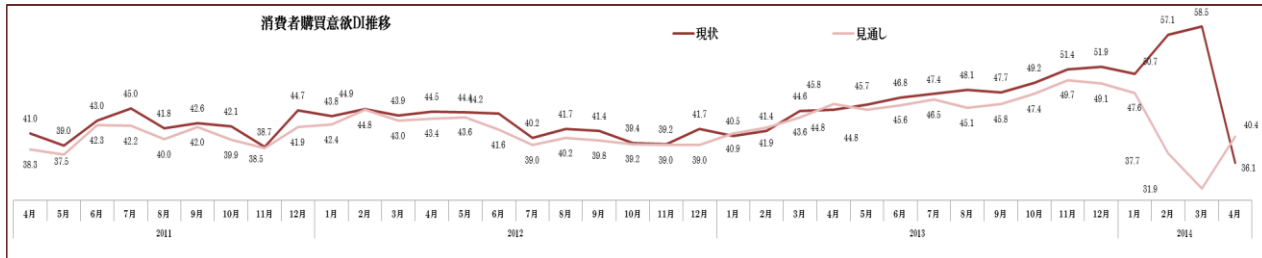
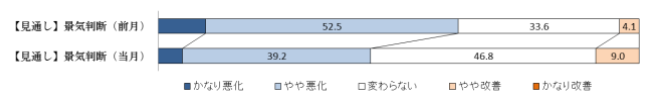
②消費者購買意欲 DI

現状判断は消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した一方で、見通し判断はやや反発をみせている

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	4.5	14.8	32.4	38.9	9.4	58.5
【現状】購買意欲 (当月)	6.7	50.2	35.0	8.1	0.0	36.1



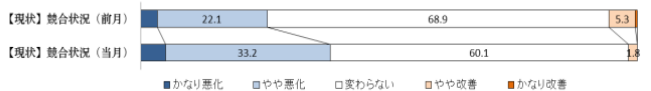
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	9.5	58.4	27.2	4.9	0.0	31.9
【見通し】購買意欲 (当月)	3.2	40.7	47.5	8.6	0.0	40.4



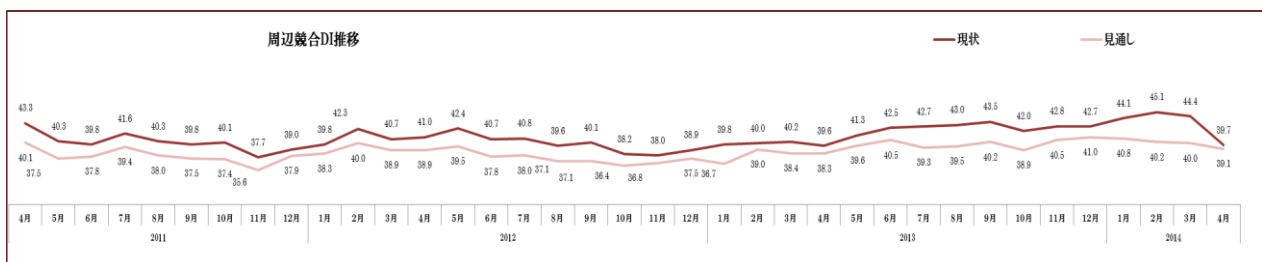
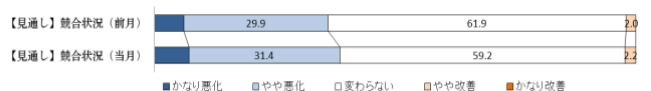
③周辺地域競合状況 DI

現状判断、見通しともに改善傾向はみられず、横ばい傾向続く

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	3.3	22.1	68.9	5.3	0.4	44.4
【現状】競合状況 (当月)	4.9	33.2	60.1	1.8	0.0	39.7



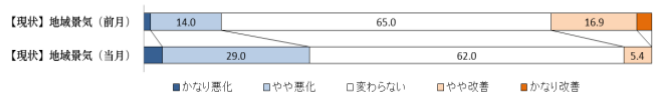
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	6.1	29.9	61.9	2.0	0.0	40.0
【見通し】競合状況 (当月)	7.2	31.4	59.2	2.2	0.0	39.1



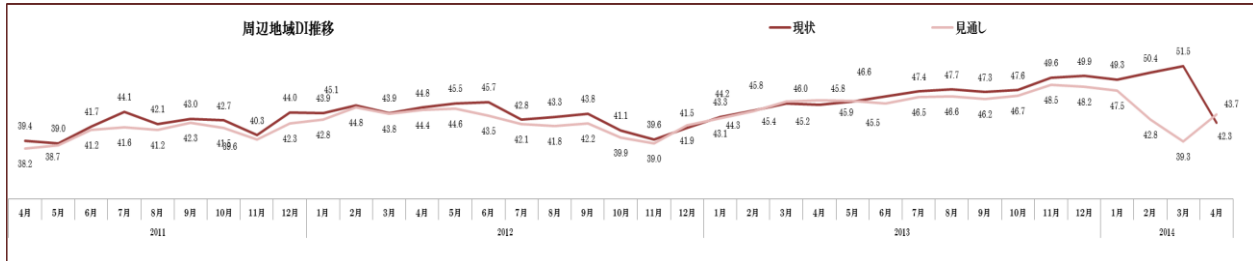
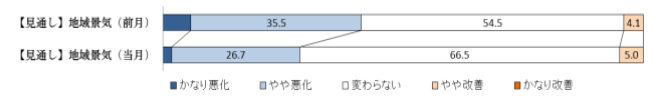
④周辺地域景気判断 DI

現状判断は消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した一方で、見通し判断はやや反発をみせている

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	1.2	14.0	65.0	16.9	2.9	51.5
【現状】地域景気 (当月)	3.6	29.0	62.0	5.4	0.0	42.3



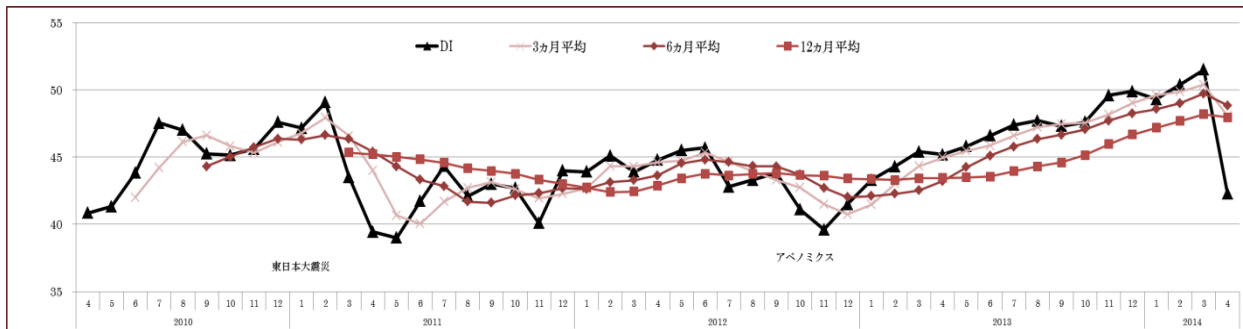
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	5.8	35.5	54.5	4.1	0.0	39.3
【見通し】地域景気 (当月)	1.8	26.7	66.5	5.0	0.0	43.7



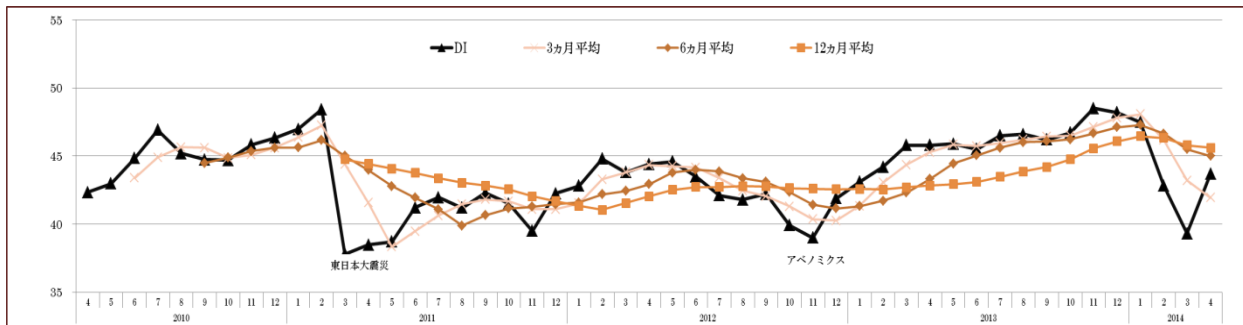
長期傾向

現状判断は消費税率引き上げの影響を受け大きく下落し、2012年11月より継続していた上昇傾向は途絶えることになった。見通し判断はすでに1月から下落を続けていたが4月は反発をみせている。大きく乖離を続けていた現状判断と見通し判断が交差する結果なり、税率引き上げ後の動きとしてはおよそ想定内である。見通し判断がやや反発したことから影響は当初の予想に比べて小さかった可能性もある。今後はどの水準まで回復をみせるか、特に2~3ヵ月後の見通し判断の回復基調が確認されることが重要であり、動向を注視していきたい。

現状判断 (中長期傾向)



見通し判断 (中長期傾向)



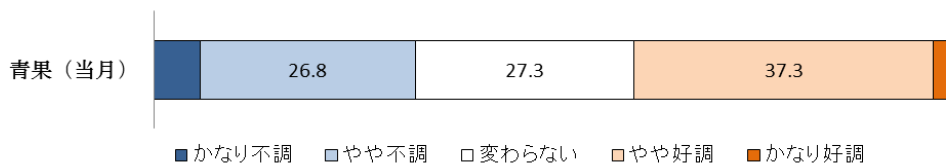
3.カテゴリー動向

カテゴリー動向概要

消費税率引き上げによる駆け込みの反動から、保存期間の長い一般食品と非食品のカテゴリーを中心に落ち込みが目立った。一方で青果や畜産が相場高にも支えられ比較的堅調に推移されていることや、日配や一般食品の一部については4月の後半からの回復基調がみられた店舗もあった。少雨で温暖な気候に恵まれ、行楽需要による惣菜や季節性の高い商品が好調であった地域もみられた。

【青果】

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果 (当月)	5.7	26.8	27.3	37.3	2.9	1.2



【水産】

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産 (当月)	5.3	34.8	37.2	20.3	2.4	-5.1



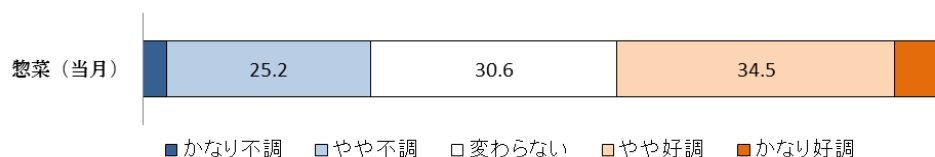
【畜産】

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産 (当月)	1.5	18.5	23.4	48.3	8.3	10.9



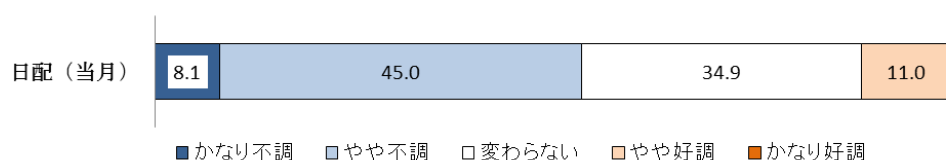
【惣菜】

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜 (当月)	2.9	25.2	30.6	34.5	6.8	4.2



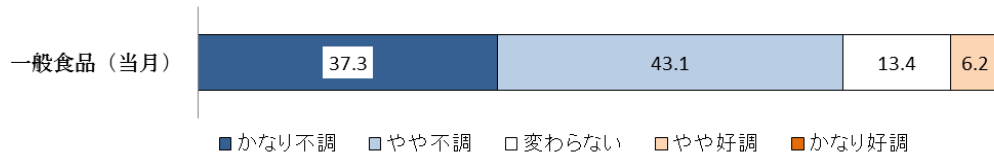
【日配】

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配 (当月)	8.1	45.0	34.9	11.0	1.0	-12.1



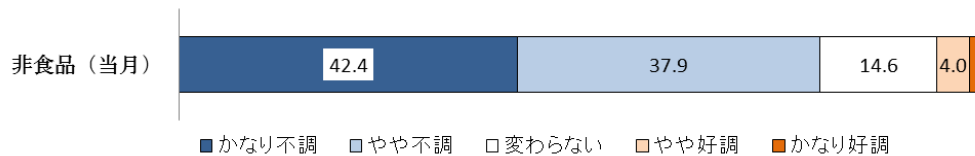
【一般食品】

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品 (当月)	37.3	43.1	13.4	6.2	0.0	-27.9



【非食品】

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品 (当月)	42.4	37.9	14.6	4.0	1.0	-29.2



主な好調・不調コメントまとめ

	好調コメント	不調コメント
青果	野菜相場高(前年同月比較)、果物	果物
水産	刺身、(まぐろ・鮮魚類)	相場高、不漁(仕入困難)、買い控え・反動
畜産	牛肉・豚肉相場高、販促強化	豚肉相場高、加工品
惣菜	花見などの行楽需要、販促強化	(米飯、寿司、人員の不足)
日配	販促強化	駆け込みの反動、パン、牛乳、ヨーグルト、冷凍食品
一般食品		買い控え、駆け込み需要の反動、米、酒、調味料、競合
非食品		買い控え、駆け込み需要の反動、雑貨、たばこ、競合

2014年4月キーワード TOP 3

1. 駆け込み需要の反動
2. 天候要因(好天・下旬気温が高い)
3. 相場高(生鮮食品)

スーパーマーケット経営動向調査

当月：4月速報版集計 223社

前月：3月確報版集計 244社